

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成28年3月14日(月) 11:00～11:50

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス事務局棟4階)

発表事項

1. 「会議所、しんきん、山形大学 経営塾」に関する協定の締結について
2. 平成28年度4月1日付け人事異動について
3. 平成24年度採択博士課程教育リーディングプログラム中間評価結果について
4. さあ！キミも「一日山大生」になってみませんか？
5. 「アイヌの伝統・文化を題材にした幼児向け絵本の原作募集」で本学学生が最優秀賞に選ばれました
6. 本学学生が「日台スカラシップ」大賞を受賞
7. 山形大学・山形県による土壌環境放射性物質の共同調査実施結果について

お知らせ

1. 山形大学学位記授与式の取材に対するお願い
2. 慶應義塾大学と連携協定締結に関する調印式を開催します
3. 株式会社ブリヂストンと山形大学は包括的産学連携推進に関する協定を締結しました
4. 大船渡支援成果として「星のソムリエと行く三鉄銀河の旅」を開催します

(参 考)

○ 次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成28年4月4日(月)11:00～11:45

場 所：事務局第一会議室(小白川キャンパス事務局棟3階)

学長定例記者会見（3月14日）発表者

1. 「会議所、しんきん、山形大学 経営塾」に関する協定の締結について

新庄商工会議所会頭、新庄信用金庫理事長 いのうえ よういちろう 井上 洋一郎 様
学術研究院 しばた たかし 柴田 孝 教授

2. 平成28年4月1日付け人事異動について

こやま きよひと 小山 清人 学長

3. 平成24年度採択博士課程教育リーディングプログラム中間評価結果について

学術研究院 ひがしはら ともや 東原 知哉 准教授

4. さあ！キミも「一日山大生」になってみませんか？

学術研究院 さとう こと 佐藤 琴 講師

5. 「アイヌの伝統・文化を題材にした幼児向け絵本の原作募集」で本学学生が最優秀賞に選ばれました

学術研究院 わだ なおと 和田 直人 教授
地域教育文化学部3年 うめつ ゆい 梅津 悠衣 さん

6. 本学学生が「日台スカラシップ」大賞を受賞

工学部4年 うちべ にしき 内部 錦 さん

7. 山形大学・山形県による土壌環境放射性物質の共同調査実施結果について

学術研究院 とかない ふゆき 門叶 冬樹 教授
さくらい ひろひさ 櫻井 敬久 客員教授

平成28年3月14日

山形大学

「会議所、しんきん、山形大学 経営塾」に関する協定の締結について

新庄商工会議所、新庄信用金庫及び山形大学が共同して行う「経営塾」の実施に関する協定書の取り交わしを3月14日（月）に行います。

1. 目的

新庄商工会議所と新庄信用金庫と山形大学の三者が共同して、新庄最上地域の経営者及び後継者を対象とする「経営塾」を開講することと致しました。

この経営塾は、新庄最上の経営者やその後継者の皆様の経営力向上とリーダーとしての見識を高めることを目的とした1年間の育成プログラムです。最新の経営スキルを学び、それぞれの事業を発展させていく方法を実践的に学べるカリキュラムを用意しております。

2. 経営塾の内容

- (1) リーダー教育と経営力アップのためのカリキュラム
- (2) 様々な分野から講師を招き、受講者の意識・見識を高める講座

3. 経営塾のポイント

- ・第一線で活躍している経営者や経験豊富なコーチングスタッフから実践的な経営手法が学べます。
- ・毎回、講師を混えて交流会を開催することで、仲間とともに自社の繁栄・新庄最上地域の繁栄の実現に向けてモチベーションを高めます。

4. その他

- ・第1期生募集（別紙のとおり）

【お問合せ先】

山形大学教育・学生支援部 齋藤

電話：023-628-4842

E-mail：dairen@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

「会議所・しんきん・山形大学経営塾」の共同事業に

関する協定書

新庄商工会議所（以下、「甲」という。）と新庄信用金庫（以下、「乙」という。）、及び国立大学法人山形大学（以下、「丙」という。）は、「会議所・しんきん・山形大学経営塾」の共同事業に関し、次の条項により協定を締結する。

（目的）

第1条 この経営塾は、地域の経営者、若しくは後継者の経営力の向上と経営者としての見聞を広げると共に、講師及び参加塾生相互の交流を通じて経営力を養うことを目的とする。

（内容）

第2条 甲、乙及び丙の3者は、前条の目的を達成するため、下記に掲げる共同事業を推進する。

- （1）リーダー教育と経営力アップのためのカリキュラム
- （2）様々な分野から講師を招き、受講者の意識・見識を高める講座
- （3）その他、甲、乙及び丙が必要と認める事項

（期間）

第3条 本協定は、協定締結の日から効力を生じ、平成29年3月末日まで有効とする。ただし、有効期間満了1ヶ月前までに相手方から協定解除の書面による通知がない場合は、その後本協定は1年自動更新され、その後も同様とする。

（機密保持）

第4条 甲、乙及び丙は、第2条各項の連携協力により提供された情報について、相手方の了承なく第三者に開示、提供しない。また、本協定の目的以外に提供された情報を利用しない。ただし、既に公知となっている情報及び当該当事者の了解を得た場合はこの限りでない。

(その他)

第5条 本協定に定めのない事項又は本協定の条項について疑義が生じた場合は、甲、乙及び丙が協議し、決定する。

この協定を証するため、本書3通を作成し、各1通を保有する。

平成28年3月14日

甲 山形県新庄市住吉町3番8号
新庄商工会議所
会頭

乙 山形県新庄市本町2番9号
新庄信用金庫
理事長

丙 山形県山形市小白川町1丁目4番12号
国立学校法人山形大学
学長

第1期生募集

会議所・しんきん・山形大学 経営塾

このたび、新庄商工会議所・新庄信用金庫・山形大学の三者が共同して、新庄最上地域の経営者及び後継者を対象とする「経営塾」を開講することと致しました。

この経営塾は、皆様の経営力向上とリーダーとしての見識を高めることを目的とした1年間の育成プログラムです。第一線の経験豊富な講師から最新の経営スキルを学び、それぞれの事業を発展させていく方法を実践的に学べるカリキュラムをご用意しております。

<主なテーマ>

生産革新、経営革新、マーケティング、課題解決、管理会計、人材育成等

<スケジュール予定> 年間10回開講

平成28年4月16日（土）～平成29年3月18日（土）までの

第3土曜日の午後2時～5時（8月、12月を除く毎月）

※8割以上出席の方には最終日に修了書をお渡しいたします。

※講義終了後、講師を交えての交流会を開催予定

<主な講師陣紹介>

塾長 株式会社エッサム 会長 やくわ あきら 八 徹 昭 氏

最上郡大蔵村出身。昭和38年、東京神田で会計事務所向け事務用品販売会社を起業。昭和53年に株式会社エッサムに改称、躍進を続け業界シェアはトップ。近年、貸会議室という新種の事業を展開中。

（年商50億円、従業員280名、営業所は国内13箇所にあり製造拠点は工業団地の新庄工場。事務用品や情報システム等の開発・製造・販売を行う数少ない専門サプライヤー。）



コーディネーター 山形大学 教授 しばた たかし 柴田 孝 氏

元NECパーソナルプロダクツ執行役員。

米沢製作所/米沢日本電気株式会社（NEC）に入社し、世界初のノートパソコン開発責任者。発管理の新しい仕組みの導入、生産革新、ものづくりのIT化、社内ベンチャーに携わり、NEC取締役、エヌワイデータ社長等を歴任。

専門はものづくり経営戦略論、生産革新論。著書は「ものづくり成長戦略」等。



山形大学大学院理工学研究科 准教授 ^{ひいらぎ} 柊 ^{しの} 紫乃 氏

お茶の水女子大学大学院人文科学研究科修士課程、愛知工業大学大学院経営情報科学研究科博士後期課程修了、博士（経営情報科学）。株式会社オージェイティイー・ソリューションズ リサーチャー。経営管理数値の研究とともに、OJT-S（トヨタ自動車とリクルートが設立）にて「現場の人づくり」による生産性向上支援に携わる。専門はものづくり管理会計。



ピーキューブ株式会社 代表取締役社長 ^{なるさわ} 成沢 ^{としこ} 俊子 氏

昭和 58 年～平成 14 年NEC勤務。トヨタ生産方式に学んだ生産性改善活動に従事、教育訓練担当マネージャー。平成 19 年～現在、企業の改善活動を支援する傍ら日米技術交流史を研究。平成 24 年より監督者向けの職場教育の新たな活用を探索。平成 25 年ピーキューブ株式会社を設立、代表取締役社長就任。



株式会社資生堂 執行役員顧問 ^{せきね} 関根 ^{ちかこ} 近子 氏

昭和 47 年株式会社資生堂入社。資生堂販売株式会社 宇都宮支社長、近畿支社大阪支店長、国際マーケティング部美容企画推進室長などを経て平成 24 年執行役員美容統括部長。平成 25 年日経WOMAN「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2013 リーダー部門」を受賞。平成 26 年株式会社資生堂 執行役員常務に就任。現在は、執行役員顧問として各地の研修会や講演会で活躍中。山形県総合政策審議会委員。



<募集概要>

- 対 象 新庄最上地区の経営者および後継者
- 募集人員 20 名
- 参加費 新庄商工会議所会員 35,000 円 非会員 60,000 円（交流会費は別途）
- 会 場 しんきん文化ホール レキシントン新庄（新庄信用金庫本店敷地内）新庄市本町 2-9

<申し込み>

- 受 付 申込書に必要事項をご記入の上、新庄商工会議所事務局宛てに FAX でお申込みください。
- 申込期限 4 月 8 日（金）
- そ の 他 申込をいただいた方には、予定カリキュラムと参加費のお支払方法についてご案内いたします。

お申込み・お問い合わせ 新庄商工会議所内「会議所・しんきん・山形大学 経営塾」事務局

〒996-0022 新庄市住吉町 3-8 TEL 0233-22-6855 FAX 0233-22-6857

E-mail shinjyou@sjcci.or.jp

主催/新庄商工会議所・新庄信用金庫・山形大学 **後援/山形県最上総合支庁**

経営塾 申込書

経営塾 事務局 行き FAX 0233-22-6857

（添書は不要です）

住所/TEL・FAX	〒	TEL	FAX
事業所名			
氏名/生年月日		Ⓜ (S・H 年 月 日生)	
携帯番号/ E-mail	携帯番号	E-mail	

※提供いただいた個人情報は経営塾の運営にのみ使用し、その目的以外には、一切使用いたしません。

学長記者会見用資料

山形大学人事異動(平成28年4月1日)

<役員>

職名	氏名	備考
理事	安田 弘法	再任
理事	久保田 功	新任
理事	大場 好弘	再任
理事	阿部 宏慈	再任
理事	萩原 均	再任

<部局長>

職名	氏名	備考
小白川キャンパス長	玉手 英利	新任
飯田キャンパス長	山下 英俊	新任
米沢キャンパス長	飯塚 博	新任
鶴岡キャンパス長	林田 光祐	新任
附属学校運営部長	河合 康則	新任
人文学部長	清塚 邦彦	新任
地域教育文化学部長	出口 毅	新任
医学部長	山下 英俊	再任
農学部長	林田 光祐	新任
医学部附属病院長	根本 建二	新任
基盤教育院長	安田 弘法	新任
社会文化システム研究科長	清塚 邦彦	新任
地域教育文化研究科長	出口 毅	新任
医学系研究科長	山下 英俊	再任
有機材料システム研究科長	伊藤 浩志	新任
農学研究科長	林田 光祐	新任
教育実践研究科長	出口 毅	新任

<部課長>

職名	氏名	前職
総務部総務課長	佐藤 洋	新潟大学総務部総務課総務調整主査
財務部財務課長	吉田 隆	人間文化研究機構総合地球環境学研究所管理部財務課長
施設部施設企画課長	佐々木 務	秋田大学施設企画課長
施設部施設整備課長	富田 善公	宮城教育大学施設課長
エンrollment・マネジメント部長	長岡 祐治	医学部事務部副部長
学長付主幹専門員(労働生産性向上プロジェクト特命担当)	矢作 清	総務部労務課長
米沢キャンパス事務部長	齋藤 賀久	工学部研究支援課長
飯田キャンパス事務部企画管理課上席専門員(経営戦略室長)	平賀 久義	財務部経理課長
飯田キャンパス事務部学務課長	高橋 淳	工学部学務課長
法務支援室上席専門員(訴訟担当)	柴田 俊秀	総務部労務課副課長
米沢キャンパス事務部学務課長	沼澤 利光	企画部研究支援課副課長
エンrollment・マネジメント部EM企画課長	斉藤 勤也	工学部研究支援課副課長

平成28年3月14日
山形大学

平成24年度採択博士課程教育リーディングプログラム中間評価結果について

文部科学省では、グローバルリーダー養成を目的とする「博士課程教育リーディングプログラム」による支援を行っています。平成24年度採択プログラムに対し、先日、中間評価が行われ、本学「有機材料システム創成フレックス大学院」が5段階評価の最上位“S”を獲得いたしました。

◇ 文科省プログラムの目的

～産学官に亘りグローバルに活躍するリーダーを養成する（想定する人材）～

- ① 国内外の企業・公的機関・NPO等を中心とする研究以外のトップリーダーとして活躍できる人材
- ② 高い国際性・学際性をベースとして、俯瞰的な視点から社会的課題に挑戦し、解決に導ける人材
- ③ 確かな研究能力をバックグラウンドに、イノベーションをけん引するプロジェクトをマネジメントできる人材
- ④ 主体的に目標を立て、国内外の多様なステークホルダーを調整・統括して達成を図れる人材

◇ 本学プログラムの特徴

～ フロント有機材料システム創成フレックス大学院（オンリーワンプログラム）～

- 卓越した専門性のみならず創造性および主体性を兼ね備えた博士号取得者の養成
- 5年一貫の博士課程グローバル教育
- 年間約50日を超える学内外・国内外（留学・インターンシップ等）・異分野学生と刺激し合える環境
- 世界第一線で活躍する教員による指導体制
- 豊富な国際ネットワークと産学連携
- 奨励金、学生寮等の経済支援

◇ 評価制度

文科省事業実施期間の7年間のうち、4年目に中間評価、最終年の7年目に事後評価が行われ、5段階（S・A・B・C・D）で評価されます。S評価の基準概略は下記のとおりとなっています。

**計画を超えた取組であり、現行の努力を継続することにより
事業の目的を十分に達成することが期待できる。**

◇ 評価結果

～ オンリーワンプログラム5件中では唯一のS評価 ～

平成24年度採択全プログラム数 24プログラム

S評価：3プログラム

A評価：12プログラム

B評価：8プログラム

C評価：1プログラム

（連絡先）

山形大学工学部フレックス大学院事務室

電話 0238-26-3834

フロンティア有機材料システム創成 フレックス大学院

Innovative Flex Course for Frontier Organic Material Systems

略称:フレックス大学院 iFront Program



山形大学

博士課程教育リーディングプログラム



責任者 理事・副学長 大場好弘

プログラムコーディネーター 理工学研究科長・工学部長 飯塚博

副工学部長（教育担当）落合文吾

フレックス大学院 教育ディレクター 神戸士郎

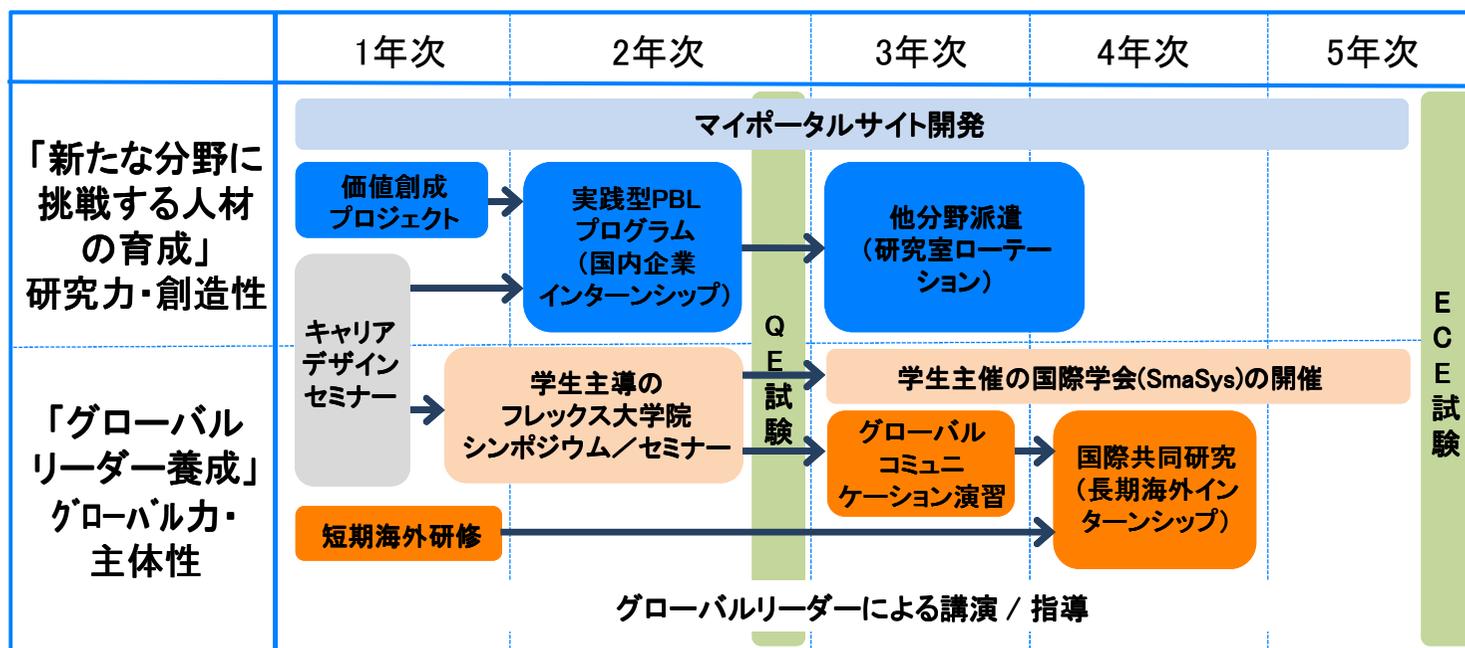
I

リーダーを養成する学位プログラムの確立

プログラムの整備

大学院理工学研究科(9専攻(全専攻から入学可))にコースとして
独自にキャリアデザイン科目として新設・整備

2つの能力育成に向けて 毎週 木曜日 夕方 約3時間 @ 1号館グローバル教育棟(整備)



- ・プログラム教員
- ・主専攻教員
- ・副専攻教員

9専攻の
枠を超えた
教育指導
体制

主専攻 副専攻制度により200科目以上の工学とMOTの科目を履修可能

- ・理工学研究科教員

企業学外審査員も参加審査

- ・産学連携教員

I

リーダーを養成する学位プログラムの確立

切磋琢磨し合う取組

年間約50日を超える学内外・国内外・異分野の学生と刺激し合う取組

キャリアデザインセミナー
スタートアップ合宿
年15日



寮(19名利用)教育
日常生活+年12日
先輩・後輩英語研究発表交流



上海短期研修(1年次1週間)
(年5日 2大学とシンポ等)



九州大・山形大
ブレインストーミング
(年2日)



国際シンポ発表・企画
国内外から招聘特別シンポ
(年5日)



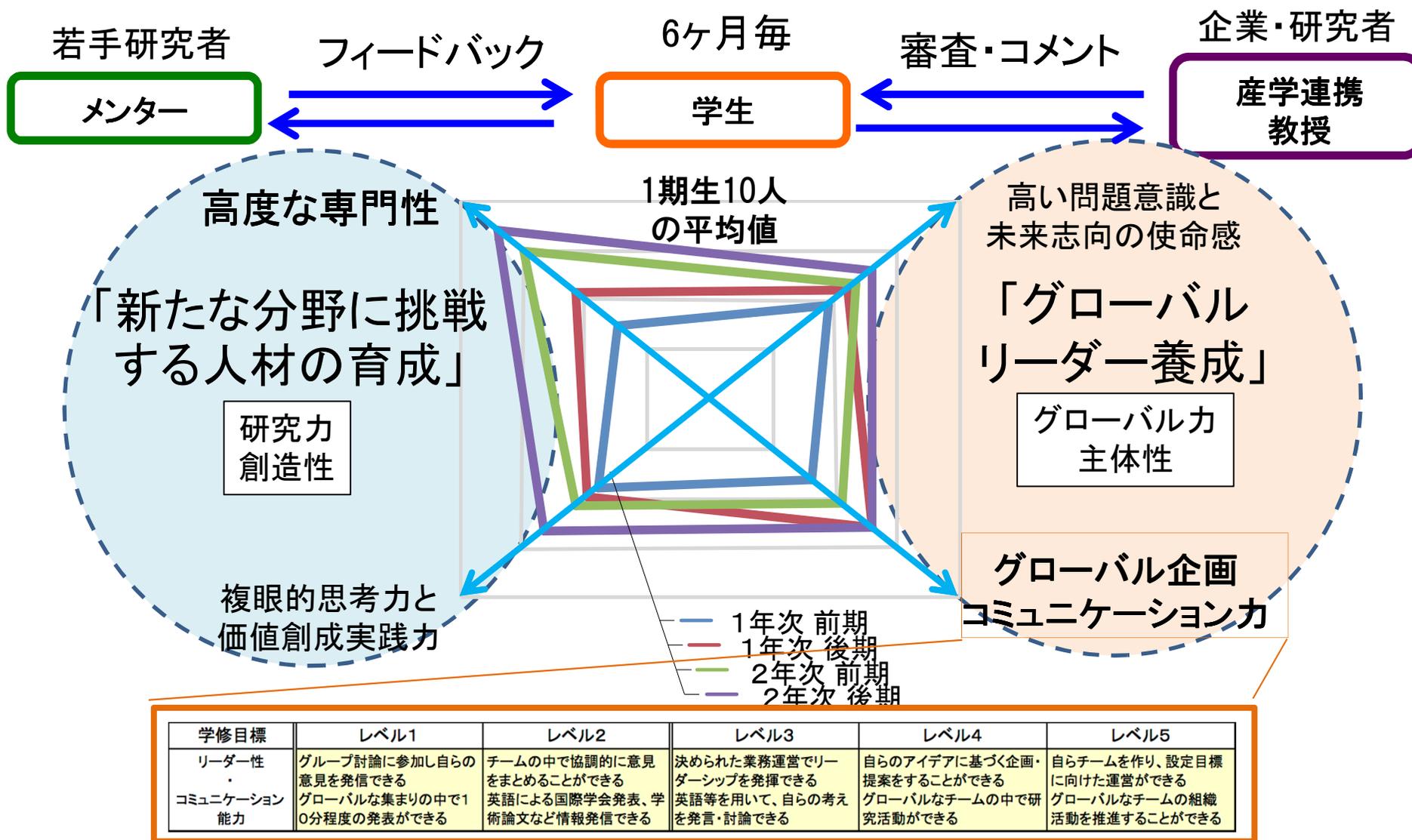
PBL科博展示
(企画・小中高生に説明年約10日)



II

産学官民参画による修了者のグローバルリーダーとしての活躍の実現性

汎用力の育成



学生の成長の実感

広い専門性・複眼的視野の重要性に気付いた。SmaSysで英語プレゼンの基礎ができた。九州ジョイントシンポで積極的にネットワークづくりの重要性を知った。PBLで企業でどう博士が活躍しているか実感できた。

II

産学官民参画による修了者のグローバルリーダーとしての活躍の実現性

学生への外部からの評価



実践的教育	各学生に対して産学官民等の各界より高い評価が得られているか
1. 短期海外研修	<ul style="list-style-type: none"> ●訪問先大学教授「グローバル力・研究力を学生自ら育てている。高い研究レベル。山形大学に本学学生を送りたい」「これまで知っている日本人学生より英語の受け答え、サイエンスの理解、活発さが優れている」 ●企業経営・人事部「将来の入社をぜひ考えて欲しい」
2. 国内企業インターン	<ul style="list-style-type: none"> ●実習指導者「人間性、専門性共に申し分ない。優秀な学生を送っていただき感謝」「習得する能力と順応性が高い」「高いリーダーシップを発揮、グループをまとめるスキルあり、今後に期待」
3. 海外長期インターン	<ul style="list-style-type: none"> ●実習指導者「短時間で素晴らしい研究成果、チームワークやコミュニケーションも素晴らしい。PhD生の良いモデル、外国人インターン受入れの価値を証明、今後、日本人研究者を受入れる基盤ができた」 ●事業部長「さらに国際共同研究で成果を挙げてその成果をもって入社してもらいたい」

III

グローバルに活躍するリーダーを養成する指導体制の整備 指導体制の構築

派遣中



城戸 淳二
卓越研究教授
総被引用件数:
10,756
h-index: 48



時任 静士
卓越研究教授
総被引用件数:
8,855
h-index: 47



上田 充
特任教授
総被引用件数:
6,500
h-index: 36



Y. Yang
UCLA
総被引用件数:
11,000
h-index: 66



特色
外部機関の積極的参画
産学連携教授・特任教授



MITSUBISHI CHEMICAL



Panasonic



2015年6月まで



2015年7月から

TEIJIN



ARKEMA



Advanced Institute of
Advanced Industrial Science
and Technology
AIST



TAIWAN
TECH
National Taiwan University of
Science and Technology

主指導教員
副指導教員

フレックス大学院学生



フレックス大学院事務室



メンター・コア担当教員・
教務職員



III

グローバルに活躍するリーダーを養成する指導体制の整備 国際ネットワークの形成

独ザクセン州
欧州最大の電気電子産業集積地
国際地域間包括連携

TECHNISCHE UNIVERSITÄT DRESDEN
Fraunhofer

視察団相互派遣

相互訪問

国際共同研究

SIEMENS
BASF

アルケマ(世界革新的企業100連続4年選出)・
国立研究機関CEA・ボルドー大学
国際的包括研究連携(4機関)

相互訪問
インターン派遣中

国際共同研究

相互訪問
インターン派遣済

UNIVERSITÉ DE BORDEAUX
ARKEMA

覚書(MOU)締結(準備中・予定含む)機関
インターン受入・国際共同研究・
共同シンポ開催・相互訪問等
実践的グローバル教育に活用している
卓越した海外機関 代表例

相互訪問

相互訪問
インターン派遣中

国際共同研究

MOU 国際共同研究
インターン派遣中

STANFORD UNIVERSITY
UCLA

相互訪問

Entegris

JSPS 頭脳循環
研究者相互長期滞在

国際共同研究

HANNES KEPLER UNIVERSITY LINZ | JKU

印刷エレクトロニクス
国際的ベンチャー企業

THINFILM

相互訪問

復旦大学
中国トップ3大学

東華大学
国家重点大学

全員
共同国際シンポ

全員
共同国際シンポ

共同国際シンポ

全員

SEOUL NATIONAL UNIVERSITY

MOU 共同国際シンポ

國立臺灣大學
National Taiwan University

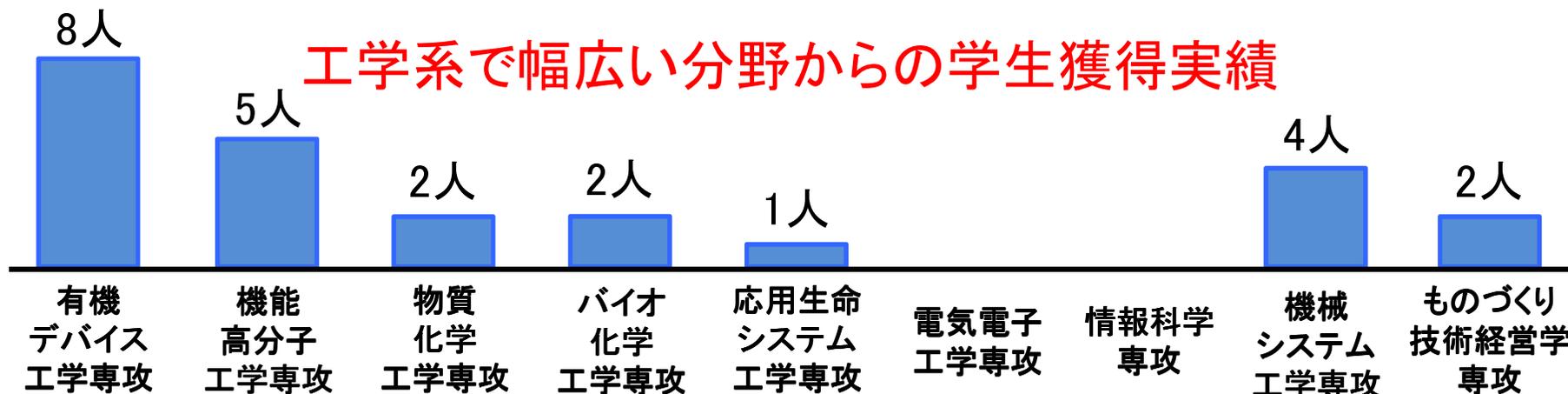
7/12

IV

優秀な学生の獲得

多様な背景を持つ優秀な学生の獲得

● 学生の多様性 (1~3期生学生数: 24人)



外国籍の学生 7人(29%)

インドネシア(1)、バングラディシュ(2)、中国(2)、台湾(1)、タイ(1)

学外からの入学生 8人(33%)

東工大(2)、北海道大(1)、ダッカ大(1)、豊橋科技大(1)、台湾大(1)、モンクト王工科大(1)湖州師範学院(1)

飛び級生 3人(13%)

● 優秀な学生 (2・3年次生(1・2期生)18名の集計)

発表論文(査読付)(投稿中含む)件数 19件

学会賞等受賞件数 13件

英語国際学会発表件数 42件

学振(DC1・2)採択件数 5件

V

世界に通用する確かな質保証システム

学位審査体制・質保証システムの構築

2年次 後期

● QE審査システム : 2段階審査の実施

- (1) QE予備審査 (11月) ・英語による国際学会発表1件
・査読付学術論文1件を投稿済み

研究能力の担保

- (2) QE本審査 (2月)
 - ・公聴会: 研究内容: 15分
価値創成グローバル力: 5分
 - ・口頭試問: 25分
(審査) 主指導・副指導教員
+ 産学連携教授 (4名以上)

修士学位相当の研究力、
価値創成グローバル力の
審査

5年次 後期

● 学位審査体制 : コース修了要件は2つの審査にパスすること

(各主専攻) 博士論文の審査・最終試験

研究力の審査

(本コース) コース修了試験 (End-of-Course Examination)

- ・「研究力・創造性」と「グローバル力・主体性」能力獲得に関する英語発表
- ・産学連携教授等による審査
- ・口頭試問 (45分)

価値創成グローバル
実践力の審査

VI

事業の定着・発展

マネジメント体制の構築

米沢キャンパス
フレックス大学院
の定着

小白川キャンパス等
グローバル実践教育
の他研究科への展開

学長: 小山清人 (全体責任者)

理事・副学長: 大場好弘 (プログラム責任者)

理工学研究科長: 飯塚博 (プログラムコーディネーター)

運営会議 (工学系)
フレックス大学院プログラム
開発・運営委員会

工学部執行部
副工学部長

運営委員
(9専攻長)

フレックス大学院

教育ディレクター

プログラム担当教員

プログラム事務室

(1号館グローバル教育棟整備)

改革戦略本部
先進教育プログラム
開発推進ボード

本部 (山形大学)

教育・学生支援部

理工学 (理)
連合農学・医学系
経営科学 (仮称)

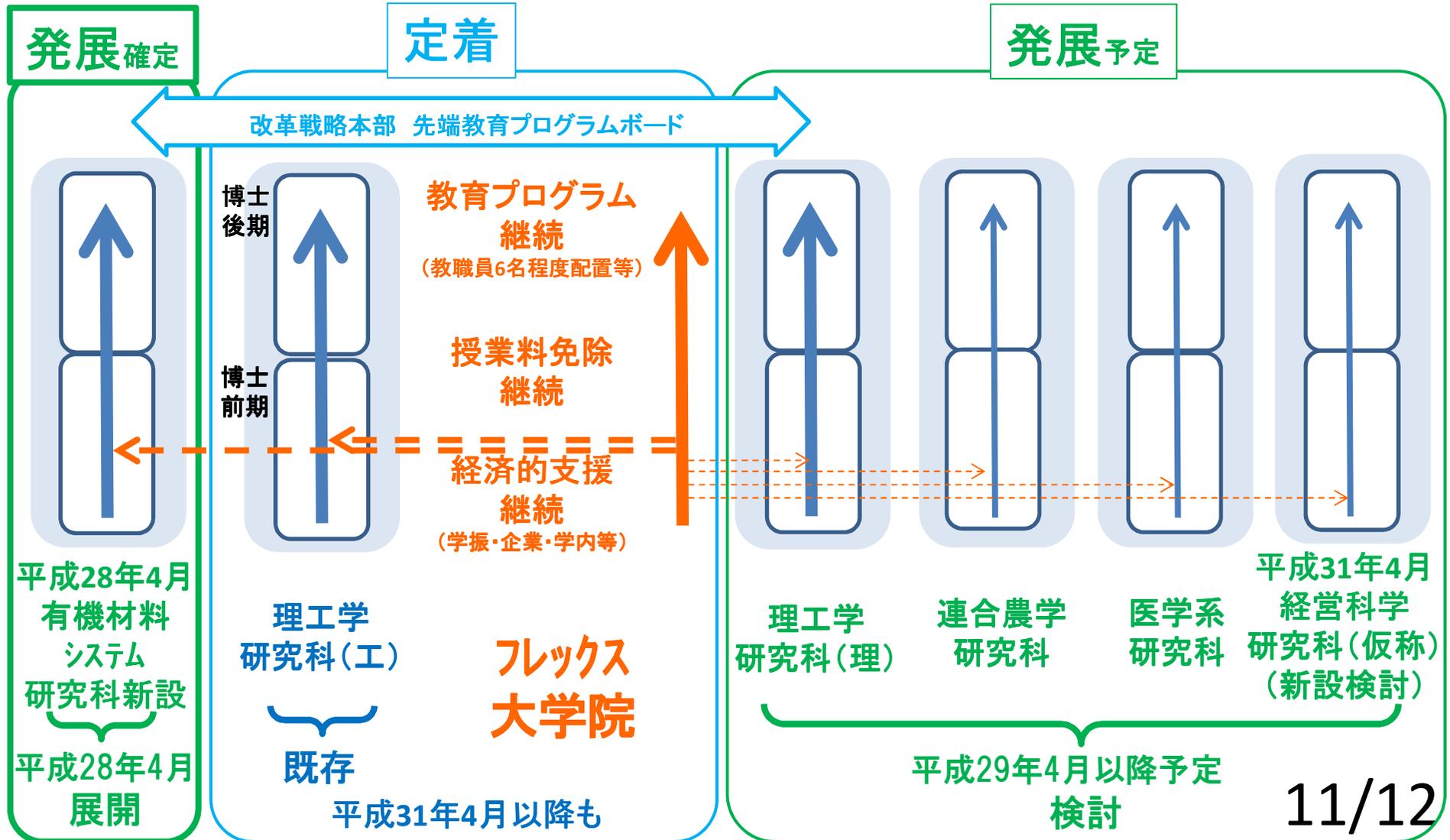
学長を中心とした責任あるマネジメント体制を構築

VI

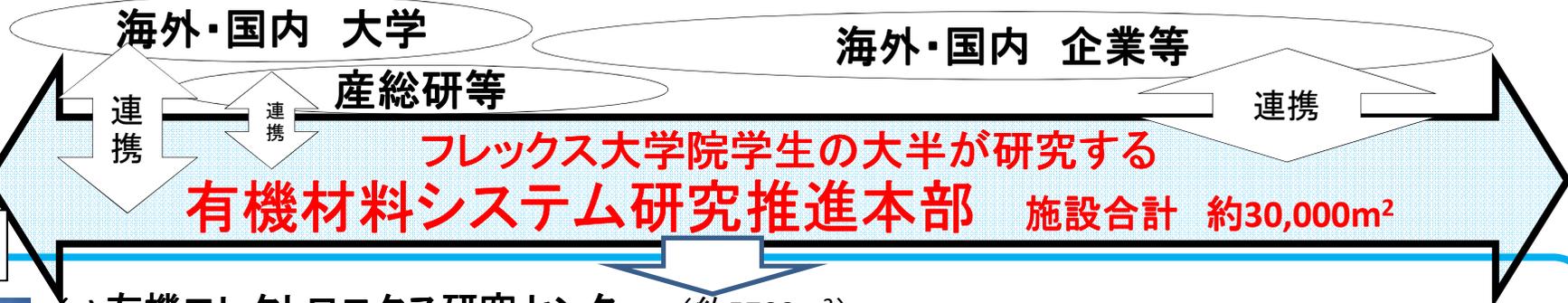
事業の定着・発展

定着・発展のための取組状況

フレックス大学院 定着・発展にむけて具体的な取組みを検討



世界屈指の国際的拠点からグローバルリーダー工学博士を輩出する
ご支援ご協力よろしくお願ひいたします。



施設



(a) 有機エレクトロニクス研究センター (約5700m²)
有機EL 有機太陽電池 有機トランジスタ フレキシブルデバイス 有機合成・デバイス作製(印刷・蒸着)・評価解析



(b) グリーンマテリアル成形加工研究センター (約2800m²)
高分子成形加工・微細加工・物性評価・グリーンマテリアル合成



(c) 有機材料システムフロンティアセンター (約10000m²) 異分野融合・フューチャーセンター
プリントドエレクトロニクス・微細成形加工・バイオマテリアル・3Dプリンター・有機ICT等の異分野融合



(d) 有機エレクトロニクスイノベーションセンター (約4000m²)
有機EL 有機太陽電池 有機トランジスタ 蓄電デバイス 開発・製品試作(印刷・蒸着)・事業化支援 有機EL照明標準化



(e) 蓄電デバイス開発研究センター(米沢・飯豊) (約4500m²) 「電池のワンストップ開発拠点」
ハイブリッドセパレータ・正極・負極・電解液・回路・電池試作開発・評価解析 電気自動車電池解析 安全性試験



(f) 実証実験工房スマート未来ハウス (約230m²)
有機材料システム分野等の開発試作品の社会実装試験

平成28年3月14日
山形大学

さあ！キミも「一日山大生」になってみませんか？

山形大学附属博物館を活用した中学生向けの体験学習プログラム
「一日山大生になろう！」を開催します

本事業は、大学に蓄積された学術研究成果および研究環境を活用し、多様化するカリキュラムに対応した新たな学習プログラムの開発を目指すものです。

2015年11月リニューアルオープンした附属博物館のリソースとノウハウを活用します。将来の職業観および進路観を育むうえで重要な時期といえる中学生を対象とし、普段見ることのない大学内の研究活動に触れていただくことにより、高等教育の広さと深さを体感し、自分の適性を確認するとともに将来の学びについて考えるきっかけを作ることを目的とします。

主催 山形大学附属博物館

協力 山形大学SCITAセンター

日時 平成28年3月23日（水）10:30～15:00

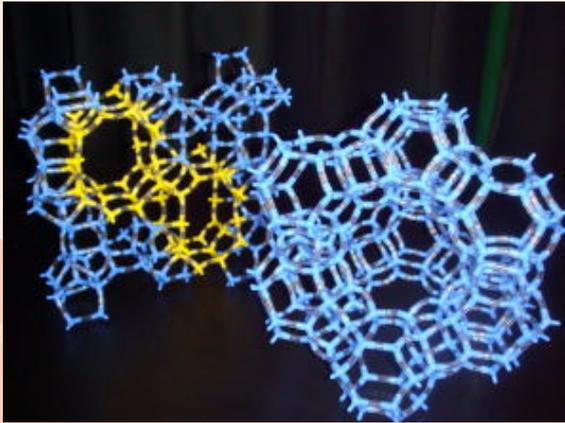
対象 中学生

定員 10名（事前申込・先着順）

体験内容 理系体験「ゼオライトをつくろう！」（担当：栗山恭直（理学部教授）

文系体験「和同開珎をつくろう！」

（お問合せ先）
山形大学附属博物館
電話 4930
メール hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



ゼオライトを
つくろう！

和同開珎を
つくろう！



2016年

3月23日 (水) 10:30~15:00

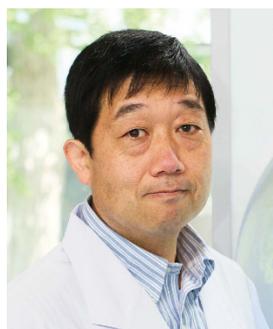
- 参加費：無料
- 対象：中学生
- 定員：10名 (事前申込・先着順)
- 場所：山形大学附属博物館

～ プログラム ～

- 10:00 受付開始 (集合場所：山形大学附属博物館)
- 10:30 理系体験「ゼオライトをつくろう！」
- 12:00 学食体験
(昼食代は各自でご負担下さい。持参弁当も可)
- 13:00 文系体験「和同開珎をつくろう！」

**中学生
対象**

理系体験担当教員



栗山 恭直
(有機化学)

ゼオライトをつくろう！

消臭剤に使われているゼオライト。実は他にもすごい力があります。模型をつくりながらその能力の秘密にせまります。

文系体験担当教員



佐藤 琴
(博物館学)

和同開珎をつくろう！

昔のお金は今とは少し違った使われ方をしていました。昔のお金を作る体験を通してお金の今と昔について考えてみましょう。

申込方法

メールまたはFAXで必要事項を記入のうえ、右記申込先までお寄せください。

※お電話でのお申込みも受付ます。

【必要事項】

氏名、ふりがな、所属中学校・学年、連絡先電話番号、メールアドレスまたはFAX番号

申込・お問合せ先

山形大学附属博物館

- ◆ TEL : 023-628-4930
- ◆ FAX : 023-628-4668
- ◆ e-mail : hakukan@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学附属博物館

2015年11月27日、山形大学に新しい博物館が誕生しました。正門を入れてすぐ右手の建物の入口からお入りください。開館日時は平日9時から17時まで。入場無料でどなたでも見学できます。



山形大学小白川キャンパスアクセス

【自家用車】

JR山形駅から県庁方面、山形南高等学校の十字路を左折。右手にキャンパスがあります。

【路線バス】

JR山形駅前より〔県庁方面行き〕南高前バス停下車5分。



平成28年3月14日
山形大学

「アイヌの伝統・文化を題材にした幼児向け絵本の原作募集」で 本学学生が最優秀賞に選ばれました

国交省・文化庁・北海道などが後援となり、公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構が公募した「アイヌの伝統・文化を題材にした幼児向け絵本の原作募集」において、地域教育文化学部 造形芸術コースの学生が最優秀賞に選ばれました。

公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構が広く全国に募集したコンクール「アイヌの伝統・文化を題材にした幼児向け絵本の原作募集」において、造形芸術コース3年生の梅津悠衣（うめつ ゆい）さんの作品「からすのくろいほし」が最優秀賞に選ばれました。

アイヌの伝統などを題材とした絵本の原作を募集して、優れた作品を表彰するとともに、その作品を絵本として出版し、全国の図書館、北海道内の保育園・幼稚園等、約3,600箇所配布して、アイヌの歴史や文化についての知識の啓発をはかろうとすることを目的におこなわれています。

梅津さんは、アイヌの伝統文化について自ら学び、絵本の原作（絵と文）を作り上げ、最優秀賞を受賞することになりました。この公募にはプロの絵本作家も応募しています。

表彰式は、3月22日に札幌市内で行われる予定で、当日は出版された絵本の披露とともに賞金として50万円が梅津さんに授与されます。

なお、梅津さんは、今回の受賞が認められ、平成27年度山形大学学生表彰を受賞しています。

（お問合せ先）
地域教育文化学部事務室
電話：023-628-4304

平成28年3月14日
山形大学

本学学生が「日台スカラシップ」大賞を受賞

2月10日、工学部機能高分子工学科4年の内部錦（うちべにしき）さんが、「第13回日台文化交流青少年スカラシップ（主催：フジサンケイビジネスアイ、産経新聞社）」大賞を受賞しました。

「日台スカラシップ」は「日本と台湾の若い世代の相互理解と交流」を目的とするもので、今回は「真の若者交流を通じて明日の日台新時代を拓く」をテーマに、中学・高校・大学生から作文、書道、短歌、マンガ1771点の応募があり、内部さんの作文「台湾と共に新製品を生み出せ！次世代のディスプレイを作る。～山形に来た一人の台湾人学生との出会いが私にもたらしたもの～」が見事大賞を受賞しました。

2月25日には、内部さんが学長室を訪問して小山学長に大賞受賞を報告。小山学長から「おめでとう！よく来てくれましたね」と迎えられた内部さんは、最初こそ緊張気味でしたが、受賞の背景や今後の目標を聞かれると、「毎日朝から晩まで研究に没頭しています。もっと技術と表現を磨いてこれからの人生を羽ばたいていきたい」と目を輝かせて答えました。その後は新技術開発や研究者のキャリアなどの話題で大いに盛り上がり、訪問予定時間を超える40分の懇談となりました。



なお、内部さんの表彰式は3月22日に東京・大手町のサンケイプラザで行われます。

（お問合せ先）
工学部広報室
Tel. 0238-26-3419
Mail koukoho@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成28年3月14日
山形大学

山形大学・山形県による土壌環境放射性物質の共同調査実施結果について

山形大学は、山形県と共同で平成24年度から山形県内の土壌環境放射性物質の定点調査を行っています。この度、今年度までの定点調査結果をご報告します。

☆背景

福島第一原発事故に伴う県内における放射性物質の沈着状況の基礎データを押さえておくことは、今後の山形県の環境を考える上で重要なことです。

そのため、山形大学は、山形県と共同で土壌環境放射性物質の分布状況の調査を継続して行っています。

☆調査期間

平成24年度から平成27年度までの4年間

☆調査方法

県内を5キロメッシュに区切り調査地点を定め、地表面からの深さ(0～5cm、5～10cm)の二層の土壌をサンプリングし、測定分析を行っています。

山形県が土壌サンプリングを担当し、山形大学および山形県環境科学研究センターが土壌サンプルの測定分析を行っています。

平成24年度は134地点、平成25年度は99地点の、土壌中放射性セシウムの濃度推移を調べました。

平成26年度からは30地点について定点調査を行っています。その中の8地点については平成24年度から4年間継続して、土壌中放射性セシウムの濃度推移を調べています。

☆調査結果

- ・庄内地区は、不検出ないし低いレベルであった。
- ・最上地区は、1定点が平成24年116 Bq/kg から平成26年55 Bq/kg と減少し、平成27年は26 Bq/kg と減少した。その他の定点は不検出ないし低いレベルであった。
- ・村山地区は、平成24年と平成25年の各測定点から求めた平均濃度は283 Bq/kg であった。それに対して平成26年の平均濃度は180 Bq/kg であり、平成27年は193 Bq/kg であった。
- ・置賜地区は、平成24年と平成25年の各測定点から求めた平均濃度は256 Bq/kg であった。それに対して平成26年の平均濃度は127 Bq/kg であり、平成27年は81 Bq/kg であった。
- ・4年間の濃度変化の様子は地点により異なっていた。

(お問い合わせ)

放射能測定チーム 門叶(教授)・櫻井(客員教授)・乾(教務職員)

電話：023(628)4663

平成28年3月14日
山形大学

1. 山形大学学位記授与式の取材に対するお願い

以下の内容で行いますので、取材方、よろしくお願いいたします。

式当日の取材に際しては、壇上での撮影は差し支えありませんが、式進行の妨げとなるような行為は慎んでいただき、円滑な進行にご協力をお願いいたします。

また、学長告辞については当日に配布いたしますが、式終了後に公表願います。

各地区の日時、会場等の詳細は別紙通知をご覧ください。

2. 慶應義塾大学と連携協定締結に関する調印式を開催します

以下の内容で行いますので、取材方、よろしくお願いいたします。

◇日時 2016年3月15日（火）14時

◇会場 鶴岡市先端研究産業支援センター（鶴岡市メタボロームキャンパス）

D棟1Fレクチャーホール（山形県鶴岡市覚岸寺字水上246-2）

◇出席予定者

慶應義塾大学先端生命科学研究所 所長 富田 勝

慶應義塾大学先端生命科学研究所 教授 金井 昭夫

山形大学農学部長、大学院農学研究科長 夏賀 元康

詳細は別紙通知をご覧ください。

3. 株式会社ブリヂストンと山形大学は包括的産学連携推進に関する協定を締結しました

世界最大のタイヤ・ゴム会社である株式会社ブリヂストンと山形大学が、共同研究や人材交流など産学連携を推進します。

詳細は別紙通知をご覧ください。

4. 大船渡支援成果としての「星のソムリエと行く三鉄銀河の旅」を開催します

山形大学はこの3年間に渡り、「星のソムリエ」養成活動を通して、大船渡市の科学文化形成の基礎作りを支援して参りました。星のソムリエを地域で自立して養成できる基盤が完成したと同時にその成果として、三陸鉄道と協力して「星のソムリエ」による星空への旅のイベントを開催することになり、復興への一助になると期待されます。

詳細は別紙チラシをご覧ください。

以上

平成28年3月14日
山形大学

山形大学学位記授与式等の取材に対するお願い

平成27年度山形大学学位記・修了証書授与式等を挙行政いたします。

式当日の取材に際しては、壇上での撮影は差し支えありませんが、式進行の妨げとなるような行為は慎んでいただき、円滑な進行にご協力をお願いいたします。また、学長告辞については当日に配布いたしますが、式終了後に公表願います。なお、各附属学校の卒業（園）式につきましても、併せてお知らせいたします。

【山形地区】

- 人文学部・地域教育文化学部・理学部・医学部・社会文化システム研究科・地域教育文化研究科・理工学研究科（理学系）・医学系研究科・教育実践研究科・養護教諭特別別科
- 日時：平成28年3月25日（金）11：00開式
会場：山形県体育館（山形市）

【米沢地区】

- 工学部・理工学研究科（工学系）
- 日時：平成28年3月20日（日・祝日）11：00開式
会場：米沢市営体育館（米沢市）

【鶴岡地区】

- 農学部・農学研究科
- 日時：平成28年3月17日（木）11：00開式
会場：東京第一ホテル鶴岡（鶴岡市）

【附属学校】

- 附属幼稚園
日時：平成28年3月15日（火）10：00開式
会場：附属幼稚園遊戯室
- 附属小学校
日時：平成28年3月19日（土）9：00開式
会場：附属小学校体育館
- 附属中学校
日時：平成28年3月16日（水）9：00開式
会場：附属中学校体育館
- 附属特別支援学校
日時：平成28年3月18日（金）10：00開式
会場：附属特別支援学校体育館

（お問い合わせ）
総務部総務課
（TEL）023-628-4006

平成 27 年 3 月 14 日
山 形 大 学

慶應義塾大学と連携協定締結に関する調印式を開催します。

山形大学農学部・大学院農学研究科は、慶應義塾大学総合政策学部、環境情報学部、大学院政策・メディア研究科と単位互換に関する連携協定を締結することになり、3月15日（火）に調印式を開催します。

◆連携目的および事項

それぞれ関係学部の学生が相手先大学の授業科目を履修し、単位を修得することを認めること、また自大学大学院の学生が相手先大学の大学院において必要な研究指導を受けることにより、学部間相互の交流と協力を促進し、教育研究の充実に資すること。

◆調印式開催概要

1. 日時 2016年3月15日（火）14時
2. 会場 鶴岡市先端研究産業支援センター（鶴岡市メタボロームキャンパス）
D棟1Fレクチャーホール（山形県鶴岡市覚岸寺字水上246-2）
3. 出席予定者
慶應義塾大学先端生命科学研究所 所長 富田 勝
慶應義塾大学先端生命科学研究所 教授 金井 昭夫
山形大学農学部長、大学院農学研究科長 夏賀 元康
山形大学農学部食料生命環境学科長 小沢 亘

（お願い）

こちらのニュースの解禁日時は3月15日（火）14:00とさせていただきます。記事にしてください場合は3月15日（火）14:00以降としていただきたく、ご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

（お問合せ先）
山形大学農学部学務担当
電話 0235-28-2808

平成28年3月14日
山形大学

株式会社ブリヂストンと山形大学は 包括的産学連携推進に関する協定を締結しました

世界最大のタイヤ・ゴム会社である株式会社ブリヂストンと山形大学が、共同研究や人材交流など産学連携を推進

平成28年3月8日（火）山形大学は、株式会社ブリヂストンと包括的産学連携推進に関する協定を締結しました。

株式会社ブリヂストンは世界最大のシェアをもつタイヤ・ゴム会社で、日本を代表するグローバル企業です。山形大学には化学系、機械系、電気系、物理系、バイオ系など多様な分野で優れた研究者が在籍し、魅力あふれる基礎研究と、産業界のニーズを取り込んだ応用研究を推進しています。

このたびの協定により、山形大学はタイヤの材料・生産・製造に関する研究はもちろん、文理総合大学として全学的なコラボレーションにより、株式会社ブリヂストンを通じて世界的ニーズに貢献出来る革新的イノベーションを起こすことを目指していきます。また将来的には、両者の強みを活かしながら、講師の相互派遣・研究者交流・連携講座・学生のインターシップの実施など多岐にわたる連携へと発展させていく予定です。



調印式



調印式後の握手

（左）山形大学小山学長（右）(株)ブリヂストン西海代表取締役COO

（平成3月3月8日 於：株式会社ブリヂストン・技術センター（東京都小平市））

本件に関するお問い合わせ

山形大学国際事業化研究センター

担当：齋藤、松崎

電話：0238-26-3025

E-mail: big-i@yz.yamagata-u.ac.jp

平成28年3月14日

山形大学

大船渡支援成果として「星のソムリエと行く三鉄銀河の旅」を開催します。

山形大学はこの3年間に渡り、「星のソムリエ」養成活動を通して、大船渡市の科学文化形成の基礎作りを支援して参りました。星のソムリエを地域で自立して養成できる基盤が完成したと同時にその成果として、三陸鉄道と協力して「星のソムリエ」による星空への旅のイベントを開催することになり、復興への一助になると期待されます。

【概要】

震災復興の中で大船渡市における科学文化形成支援を行いました。経済の復興と同時に「心」の復興として、地域の文化的環境の再構築もまた重要と考えられます。特に、我々は、星空や宇宙を題材にして科学文化の基盤形成の活動を行いました。本事業の特色は以下の2点です。

- (1) 山形大学理学部が開発した全国ブランド「星のソムリエ」資格認定制度を大船渡市に導入すること
- (2) 一過的な科学教室の出前ではなく、地域における科学教育及び教育に携わる人材の養成システムを導入し、自立して地域の科学文化環境を維持できるようにすることを目標としていること

この事業の仕上げとして、大船渡市民による天文サークル「宇詠みサークル朔(さく)」が三陸鉄道と協力し、「星のソムリエと行く、三陸鉄道星空列車」を運行します。

夕方、人気の三陸鉄道レトロ列車で大船渡を起ち、「恋し浜」「三陸」の各駅で停車し、星のソムリエが星空案内をします。列車内でも星や宇宙にちなんだイベントがあります。(別紙チラシ参照)

なお、この事業は、山形大学の地域貢献推進事業及び震災復興期の大船渡市における科学文化形成の助成を受けて実施するものです。

【詳細】

この事業は3年前から山形大学の地域貢献事業として開始されましたが、そのきっかけは大船渡中央公民館からの、復興には文化の復興、とりわけ、星や宇宙を題材にして心が豊かになるような事業をしたいという要請によりはじまりました。特に、山形大学が発祥である全国的な資格認定制度である「星空案内人(星のソムリエ®)の資格認定制度」が目的にあうというのが大きな動機になりました。これは、一過的なイベントでなく、今後、大船渡市および周辺において地域文化の長い目で見た醸成になると考えられました。

一年目は、基礎調査と4回の観望会、星の写真展などを開催し準備をすすめました。二年目に、星のソムリエ認定講座を開催し、その卒業生による地域の天文サークルの準備をおこないました。三年目で二回目の認定講座を開催し、その卒業生とも協力することにしました。そして、今、「宇詠みサークル朔(さく)」という会が結成され、定期的な星の観望会などを市民向けに開催し、また、今回の大きな事業を実施することになりました。

今後は、大船渡市の地域再生支援文化事業の予算が終了するため、サークルと大船渡市が協力しながらも、自立した事業運営をしなければならない困難を抱えながらも前に進もうとしています。今後、多くの皆さんの支援をお願い申し上げます。

(お問合せ先)

山形大学学術研究院(理学部担当)

教授 柴田晋平

電話 090-3642-9681



望遠鏡のしくみの講義風景



今年度講座の終了：認定書授与式であたらしく星空案内人になったみなさん

～ 星のソムリエ®と行く ～

三陸鉄道星空列車

2016年3月20日（日）三鉄盛駅発車

受付 午後6時より 三鉄盛駅待合室にて
時間 午後6時30分三鉄盛駅発～午後8時30分三鉄盛駅着
参加費 中学生以上2000円（小学生1000円）
（軽食代金・乗車料金・ホタテ絵馬・イベント保険料込）

三陸駅下車。星のソムリエ®が目の前に広がる星空を案内します。

曇天は曇天メニューにて運行します。

車内では楽しいレクリエーションをご用意しています。



以前の観望会の様子（※別の場所です）

募集人数 30名（先着順）
募集期間 2月29日（月）～3月16日（水）
（定員に達し次第締め切りとさせていただきます）

お申込み先
三陸鉄道南リアス線運行部
FAX：0192-27-9677 TEL：0192-27-9669
名前・住所・電話番号・人数・年齢（参加者全員分）
を明記の上、お電話かFAXにてお申し込み下さい。

主催 三陸鉄道盛駅ふれあい待合室

人気のレトロ列車で出発進行～★



<注意事項>

※屋外での観望会になります。防寒対策をしっかりとて暖かい服装でお越しください。

※暗い場所では足元にご注意ください。お子様連れの方はお子様の安全管理をお願いします。

※雨天決行ですが、暴風雨などの悪天候の場合、運行を中止する場合があります。その場合も車内レクリエーションは行います。

そらよ さく
企画・協力 宙詠みサークル朔
担当 近藤 TEL：090-1494-7062

MAIL：star.kesen@gmail.com

FAX 申込票



FAX 番号：0192-27-9677



(三陸鉄道南リアス線運行部)



参加者名	住所	電話番号	参加人数	年齢
	市・区・町・村	()		
	市・区・町・村	()		
	市・区・町・村	()		
	市・区・町・村	()		
	市・区・町・村	()		

※ この個人情報は、当イベントのためだけに使用します。

主催 三陸鉄道盛駅ふれあい待合室

協力 三陸鉄道株式会社

企画・協力 宙詠みサークル朔